

明治大学日本古代学研究所 国際シンポジウム

社会変化とユーラシア東西交易

—考古学と分析科学からのアプローチ—

■開催挨拶 9:50-10:00

中村大介 (埼玉大学) 10:00-10:45

青銅器時代から匈奴時代における遊牧社会の長距離交易

ダニエル・シュタイニガー (ドイツ考古学研究所) 10:45-11:45

ラピスラズリ原産地と流通パターンに関する新視点

向井佑介 (京都大学人文社会科学研究所) 11:45-12:30

胡漢の文化交流と交易

田村朋美 (奈良文化財研究所) 13:30-14:15

ユーラシア東西交易とガラスの道

金奎虎 (韓国・公州大学校) 14:15-15:00

科学的分析からみた韓半島のガラス製玉類の交易

山本孝文 (日本大学) 15:15-16:00

ユーラシアの中継長距離交易と朝鮮三国

石川日出志 (明治大学) 16:00-16:45

「漢委奴國王」金印からみた東アジア社会

■総合討論 16:55-17:55

コメント：朴天秀 (韓国・慶北大学校)

日時：2019年2月23日(土) 開場 9:30 より

申し込み不要・入場無料

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 1階 1011 教室

問合せ先：kodai@meiji.ac.jp

※■→@に変換/直前のお問合せには返信できない場合があります。ご了承ください。

遺物写真：モンゴル科学アカデミー歴史・考古学研究所 風景写真：中村大介

